

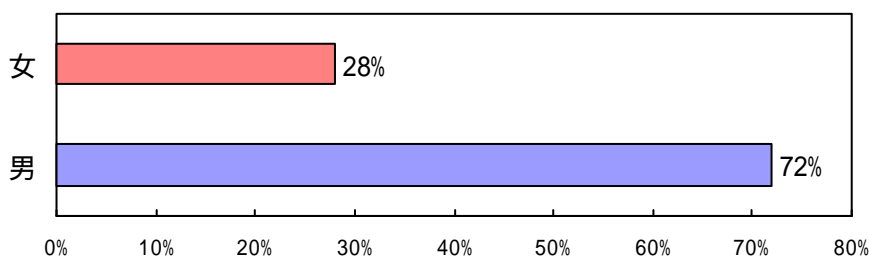
医学部1年生を対象とした男女共同参画に関するアンケート

調査年月日 平成19年9月25日(熊本大学 医学部1年生)

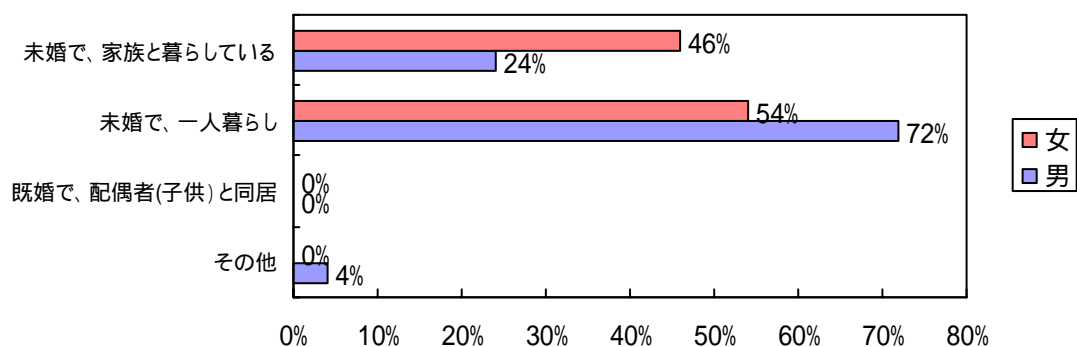
対象者 医学部1年生 : 男子学生 72名 女子学生 28名 合計 100名

目的 理科系(医者)の学生の男女が自分の人生設計の中で「ライフ・ワーク・バランス」についてどのように考え行動しようとしているか。男女共同参画の視点からアンケートしている。

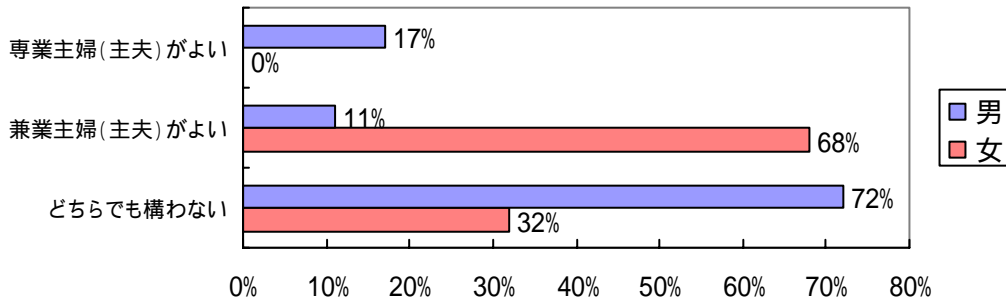
設問1 あなたの性別 男女の割合



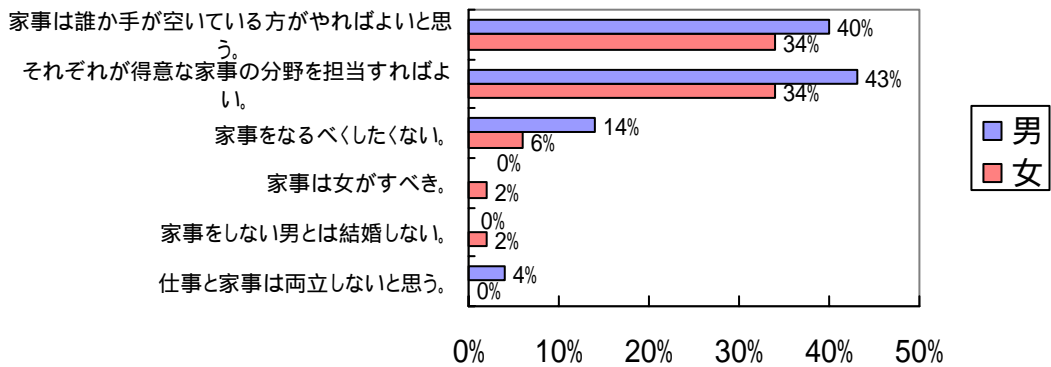
設問2 住所形態



設問3 あなたは結婚するとしたら、相手は専業主婦(主夫)がよいか、
兼業主婦(主夫)が良いと思うか？

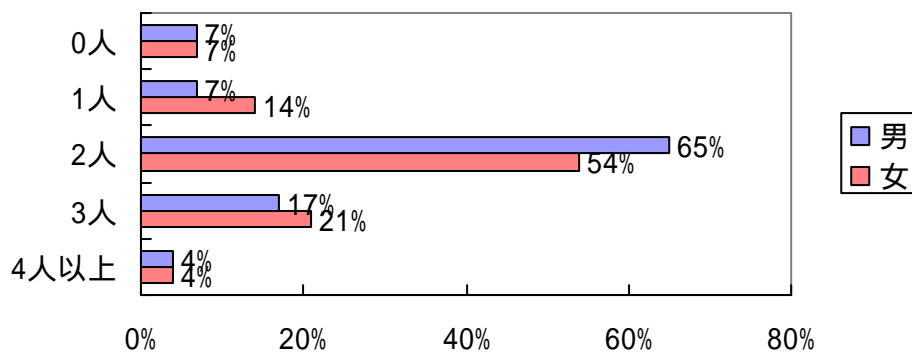


設問4 男女の固定的な性別役割分担意識について(複数選択可)

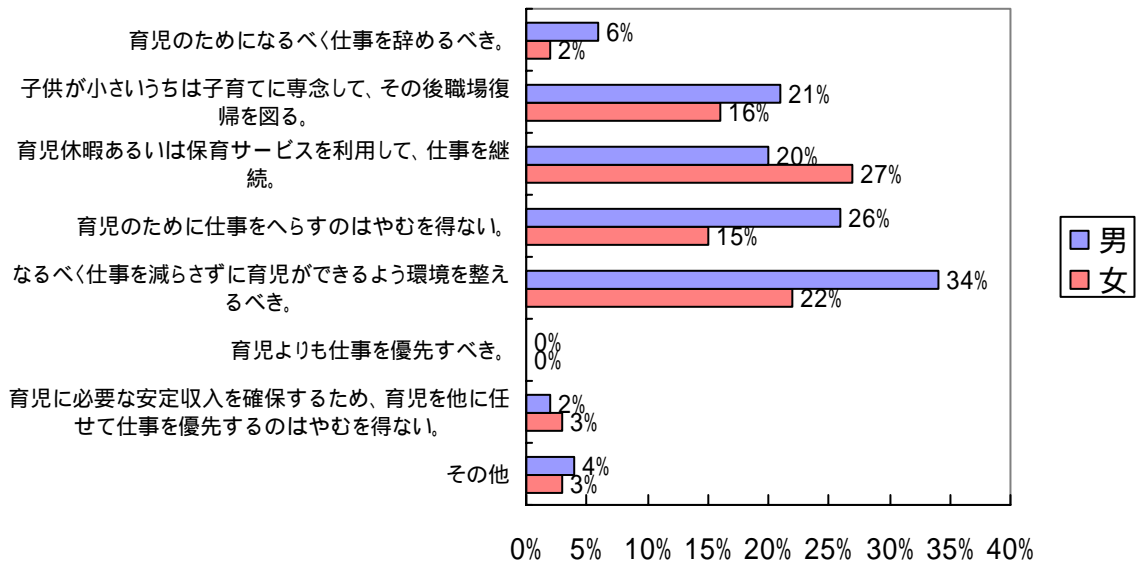


* 家事とは、掃除、洗濯・食事の準備、育児など全般的に含む。

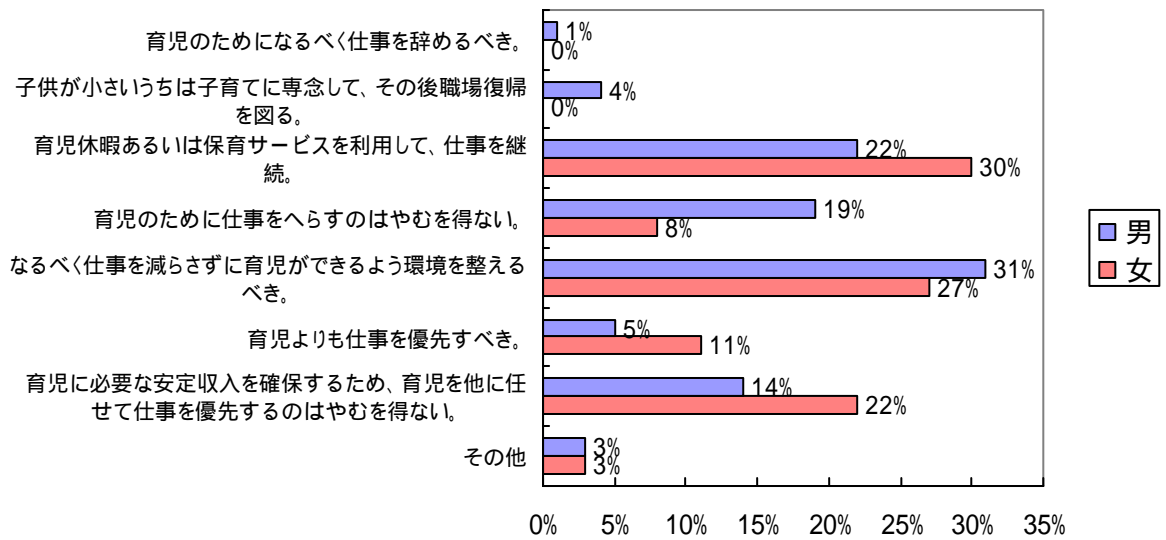
設問5 子供を何人持ちたいか？



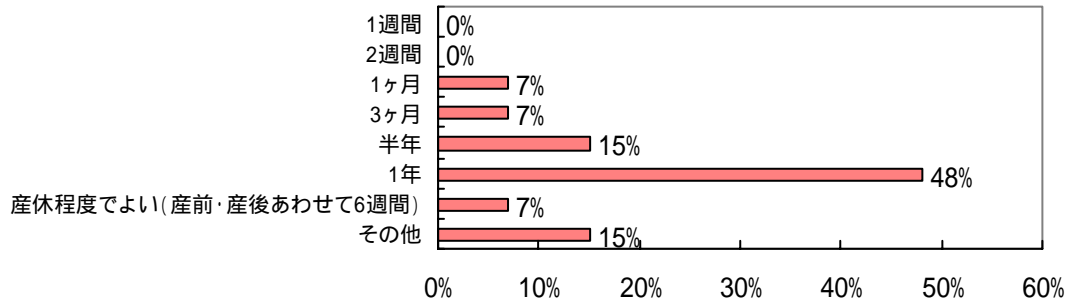
設問6 子供が生まれたら女性は、(複数選択可)



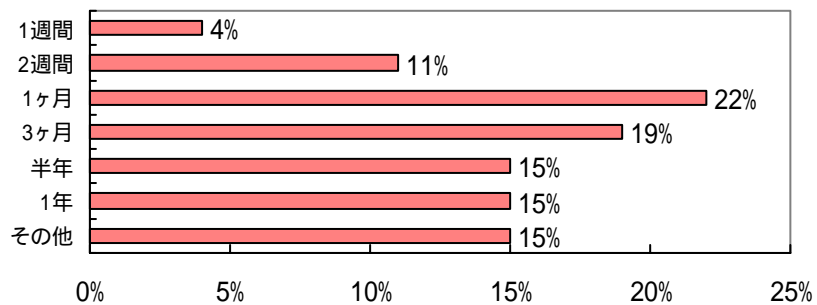
設問7 子供が生まれたら男性は、(複数選択可)



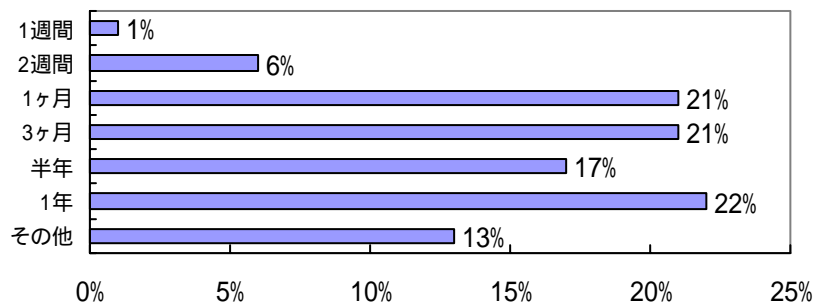
設問8(女性のみ回答) 子供が生まれたら、可能であれば育児休暇を
どれくらい取りたいか？



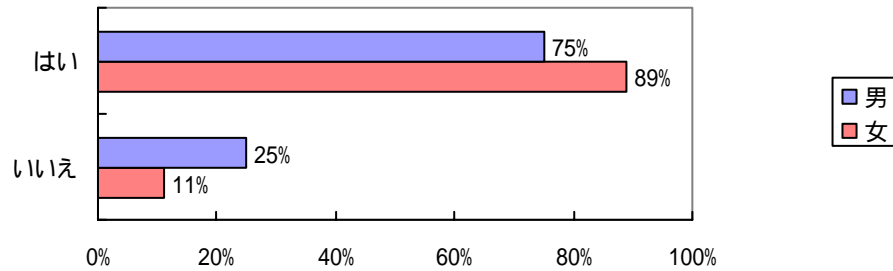
設問8-2(女性のみ回答) 可能であれば配偶者に育児休暇を
どれくらい取って欲しいか？



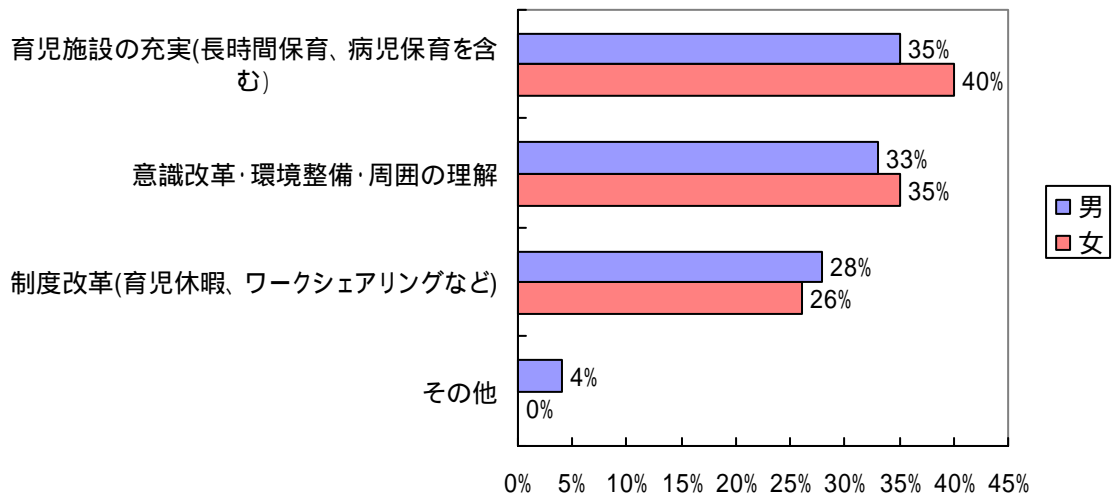
設問9(男性のみ回答) 子供が生まれたら、可能であれば育児休暇
をどれくらい取りたいか？



設問10 女性医師の仕事と家庭・育児は両立すると思いますか？



設問11 女性医師の仕事と家庭・育児の両立のためには何が必要だと思いますか？



設問12 学生からの意見と要望

下記意見に対する熊本大学の対応

熊本大学は「男女共同参画推進基本計画」を平成19年3月26日に策定しました。

その中で3つの目標を掲げています。

- 1 教育・研究及びそれを取り巻く就労・就学環境の整備
- 2 男女が共に参画して社会を形成していくための原動力となり、社会で活躍できる人材の育成
- 3 男女共同参画社会の形成のための教育・研究の充実

目標を具体的に推進するために7つの項目を掲げ推進を図ります。

- 1 男女の機会均等の実現
- 2 男女共同参画の視点に立った制度・慣行の見直し、意識改革の推進

- 3 就労・就学と家庭生活との両立支援
- 4 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
- 5 男女共同参画を推進する教育・研究の充実
- 6 ジェンダーの視点による学内の調査・分析・統計及び情報の提供
- 7 苦情の申し立て・救済システムの整備

「育児、介護休業法」を参照してください。

疑問に思っている「産前・産後休暇」制度もありますし、「育児、介護」の休暇もあります。詳細については法を呼んでください。

男女共同参画推進室（電話096-342-3281）コーディネーター緒方までお尋ね下さい。

（男子学生）

- ・ 今女性医師の現状はどうかを学生側にも教えてほしい。学生結婚のことなんかも知りたい。
- ・ 男女平等を訴えるあまりに、子供は託児所へ預けてしまえばよいという発想を生む可能性があると思う。
- ・ 子供は愛情たくさんで育てるべきであり、男だから女だからではなく家庭内においてもうまく分担して育てていくべきだと思う。
- ・ 私は男女共同はあって当たり前だと思うが、この男女共同参画委員会における活動は、徐々に、慎重を重ねて変えるべき点、そうでない点をきっちり分析して行ってほしいと思います。男性の育児参加の大切さを積極的にとりあげて欲しいです。
- ・ 男性も子供と過ごす時間を本当は欲しがってると思います。女性の教授をもっとふやすべき。
- ・ 医学部は男性の方が多いが、女性も安心して通えるような設備充実(トイレなど)、意思発表の場を設けるとよいと思う。
- ・ 男女ともに特別意識をもつことがなく、できうる限りの個人の意見を尊重してくれる環境を作って欲しいと思います。
- ・ 男女共同参画に対して、前向きにガンバってほしい。取り組むことができるのなら、女性の権利についてや女性の社会的地位向上を題材にする授業や公演を開いて欲しい。逆男女差別にならない程度にしてほしい。
- ・ 委員会で話し合われたことを、授業等で学生にも報告してもらいたいです。そして今のうちから男女共同参画の意識を高めたいです。
- ・ 女性が職場復帰しやすい環境を整えて欲しいです。
- ・ もっと男女の意見を公の場に示せる話し合いをすべきだと思う。今のところ特に不満もないので、特に要望等はありません。
- ・ まだよくわからない。
- ・ 学んでいる分には男女差は感じないので、特にありません。

- ・ 育児休暇をとったあと、仕事に復帰できるように何らかの仕組みや制度をつくってほしいです。(長崎大学は育児休暇をとった女医を再び麻酔科医として職場復帰させるような仕組みを試験的に作り上げているそうです。)
- ・ とにかく男性の意識改革が必要だと思う。育児は男性・女性がそれぞれ助け合うものだと思うので、少しでも男性が育児に参加するような特にありませんが、男女共同参画社会の実現に向けてがんばってほしいと思います。
- ・ 女性教員を増やすこと。大学病院内に、育児が必要な人が育児できる部屋などを用意して、お父さん、お母さんの目の届く所に子供をいさせてあげるようにする。
- ・ もっと女性の教授を増やして、授業をしてほしい。大学内での教授の女性への不当な差別、厚遇は徹底的になくしてほしい。
- ・ 計画を実現するには、制度面と意識面の両方へのアプローチが必要で、簡単には進まないかもしれませんが、地道に続けていってほしい今のところ満足していますので、特にありません。
- ・ 女性のための育児休暇は設けるべきだと思います。子供がかawaiiそうです。計画内容と活動報告の広報と、意見を集めるためのWebサイトがあれば良いと思います。たとえ軽いものであっても、セクハラまたはそれに近い行為がゼロになるような努力をしてほしい。
- ・ 男女共同参画であってほしいと思います。男性の特権が多いから女性にも特権を、という考え(女性専用・・・等)ではなく、男性の特権を無くそう、というコンセプトで動いて頂ければ、と思います。
- ・ 聞いた話では熊大では女性の教授が1人しかいないらしいが、まだまだ男女の差別が取り払われていない感じがある。男性の先生が可愛い女の子にはやさしすぎるので、男にもやさしくしてほしい。(実習などで)
- ・ 男女共同参画計画の内容が分からないので何ともいえません。僕は幼い頃から父や母から大切に育てられてもらったので、僕も子供は大切に育てていきたい。
- ・ まだ現実はまだ分からないが、男性の育児休暇は保育施設をつくった方がいいと思う。

(女子学生)

- ・ 職場の中に24時間営業の育児施設があればいいと思います。
- ・ 小さい子供がいる人のための育児施設の設置
- ・ 職場に保育園があるといいなと思います。
- ・ 実際に女性医師の話聞いてみたいです。
- ・ 育児等で退職した女性が医師やそれに準ずる仕事につけるような支援をしてほしい。
- ・ そうした女性医師を大病院でワークシェアリングで雇用することで、初期診療の充実をはかるなど。
- ・ 知識や技術回復を組織的に支援するなど。また、仕事と家庭の両立を望むあまり、「楽

な科」を選ぶ女性医師が多いと、医師の不足や偏在、技術低下の原因にあるので、特殊な職業であることを前提に、半端な「両立」対策なら避けるべき。(働くなら働く、休むなら休む、辞めるなら辞める)

- ・ 私も将来熊本大学で働きたいと思っているので、私が学部を卒業して、働くころまでには育児と仕事が両立できる環境になっていて欲しいです。よろしくお願いします。
- ・ 熊本大学における女性医師の現状がよく分からないので、いろいろ知ることができたらいいなと思います。
- ・ 男女とも産休を取れるようになったらいいと思う。(もしくはパートタイムで働けるようにするとか、子供が寝た夜でもいいし・・・)。大学内かその近くに子供を預けられる場所ができれば素敵だと思う。
- ・ 男女差別なく平等に仕事をするチャンスを与えてほしい。育児などが女性の仕事に影響が出ないように配慮してほしい。
- ・ 女性医師の待遇を改善して預けることは大変嬉しいです。ありがとうございます。
- ・ 実際に仕事と家事(主に育児)の両立について自分なりの結論が出ていて、それを実行している女性医師の考えを知りたい。できるだけ色々な人の意見を知ることができるような場や媒体があれば良いと思う。
- ・ 女性医師が、出産を理由に免職されることがないような制度を作ってほしいです。